

性との関わり方

甲斐市立竜王北中学校三年 雨宮 優依

私は、幼稚園児のとき、仮面ライダーや戦隊ヒーローが大好きでした。逆に、プリキュアには興味がなく、見たことがありませんでした。「かわいい」より「かっこいい」と言われたかった私は、スカートやワンピースは大嫌いでした。なので男の子のような服装ばかりしていました。祖母は「女の子なんだから女の子らしい格好をしてほしい」と、言っていましたが、父と母は何も言わず、私がしたい服装をさせてくれました。遊びもサッカーや虫捕り、外で遊ぶことが好きだったため男の子とよくいっしょにいました。このような私は周りの人からどのように見られていたのでしょうか。もっと女の子らしくいてほしいと思われていたのでしょうか。

私は、最近「性」について触れる機会があったため、いろいろ調べました。その中に、「LGBTQ」というものがありました。私は、見たことも、聞いたこともなかった言葉に興味を持ちました。調べてみると、LGBTQ とは、L はレズビアン、女性同性愛者、G はゲイ、男性同性愛者、B はバイセクシュアル、両性愛者、T はトランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人、Q はクエスチョニング、自らの性のあり方について特定の枠に属さない人、わからない人ということが分かりました。LGBTQ の他にも「X ジェンダー」自身の性を男女いずれかに限定しない人々のこと、「パンセクシュアル」性的指向が性別にとらわれない人々のこと、など様々な性のあり方が分かりました。私は、調べていくうちに、幼稚園児のときを思い出しました。あのときの私は間違っていたと思っていたものが、間違いではない、世の中には様々な性のあり方があると思えることができました。そして、私は、性についてもっと理解を深めたいと思いました。

そんなある日、私にとってショックな出来事が起こりました。英語の授業中、先生が一人の男子生徒に向かって「好きな色は？」と質問をしました。男子生徒は「ピンク」と答えました。その瞬間クラス中で笑い声が聞こえました。私はショックを受けました。なぜみんな笑うの？男子はピンク色を好きになっただけなの？そう思いました。そしてなにより、みんなの心の中に「男は男らしく」という考えがあることが一番ショックでした。

私は、みんなに「男は男らしく」「女は女らしく」という考え方はいらないと分かってほしいと思いました。男子が何色を好きになってもいい。女子が制服でズボンをはいてもいい。世の中には様々な人がいることを理解してほしいと思いました。みんなが理解することでみんな自身の人に対する考え方や見方を少しでも変えることができると思います。

今の世の中は、テレビや雑誌などのメディアで多様な性のあり方について発信しているため理解も広がってきていると思います。私の学校でも、司書の先生が性のあり方についての掲示板を出しています。

しかし、もし友達が LGBTQ や X ジェンダーであるときに、言いやすい環境かと言われるとそうではないと思います。みんなが受け入れてくれるかは分かりません。もしかしたら LGBTQ や X ジェンダーと言ったことでいじめられることだってあるかもしれません。しかし、自分が自分らしく生きるために言ったことをおかしいと思い、いじめるなんて絶対にあってはいけないことです。大切なことは、理解することです。理解することで救われる人がいます。私自身、幼稚園児のとき、周りの大人たちが理解してくれたおかげで今があります。だから差別をせず、理解をしてほしいです。

今はまだ LGBTQ や X ジェンダーであることを言えずに苦しんでいる人がたくさんいます。誰もが生きやすい世の中になるべきです。私たちには、伝えることができます。お互いに自分自身のことを相手に伝え、分かち合うことができます。私たちが一人一人のことを理解することで、もっと幸せになれる人がいます。自分を相手に伝えること、発信することは決して簡単ではありません。ですが誰もが発信しやすくなったとき、誰もが生きやすい世の中になると思います。

私は今、友達がメイクをしてきれいになっていく姿を見て、きれいな女性になりたいと思う気持ちと、ボーイッシュでカッコいい女性になりたいと思う気持ちがあります。私は友達にありのままの私を受け入れてほしいと思います。私の個性を受け入れてほしいです。

私のような中学生が発信したところで大きく世の中に影響は与えられないかもしれませんが。でも一人でも多くの人に私の作文を読んでもらいたいです。そして、みんなで世の中を変えていきたいと強く思います。